

みずほCustomer Desk Report 2020/02/21号 (As of 2020/02/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.28
TKY 9:00AM	111.20	1.0810	120.22	GBP/USD	1.2925
SYD-NY High	112.23	1.0821	121.38	AUD/USD	0.6681
SYD-NY Low	111.12	1.0778	120.10		
NY 5:00 PM	112.13	1.0784	120.91		
NY DOW	29,219.98	▲ 128.05	日本2年債	-0.150	1.00bp
NASDAQ	9,750.97	▲ 66.22	日本10年債	-0.040	1.00bp
S&P	3,373.23	▲ 12.92	米国2年債	1.3964	▲ 2.86bp
日経平均	23,479.15	78.45	米国5年債	1.3651	▲ 4.35bp
TOPIX	1,674.48	2.62	米国10年債	1.5178	▲ 4.92bp
シカゴ日経先物	23,495.00	▲ 95.00	独10年債	-0.4445	▲ 2.30bp
ロンドンFT	7,436.64	▲ 20.38	英10年債	0.5750	▲ 2.30bp
DAX	13,664.00	▲ 125.00	豪10年債	0.9805	▲ 5.35bp
ハンセン指数	27,609.16	▲ 46.65	USDJPY 1M Vol	5.85	0.49%
上海総合	3,030.15	54.75	USDJPY 3M Vol	5.56	0.33%
NY金	1,622.30	10.50	USDJPY 6M Vol	5.72	0.21%
WTI	53.78	0.49	USDJPY 1M 25RR	-0.45	Yen Call Over
CRB指数	174.73	▲ 0.77	EURJPY 3M Vol	6.40	0.39%
ドルインデックス	99.90	0.19	EURJPY 6M Vol	6.41	0.18%

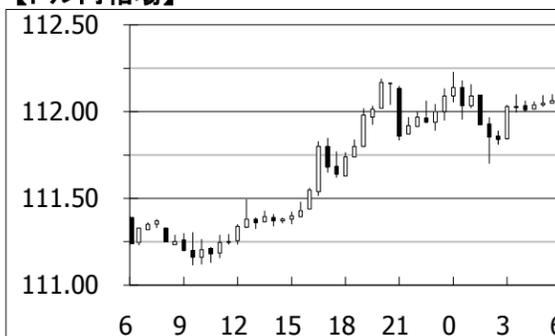
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月20日	16:00	独 GfK消費者信頼感	3月 9.8	9.8
	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	1月 0.8%/0.2%	0.1%/-0.4%
	18:30	英 小売売上高(除く自動車燃料・前月比/前年比)	1月 1.6%/1.2%	0.8%/0.5%
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	2月 36.7	11.0
2月21日	0:00	米 先行指数	1月 0.8%	0.4%
	0:00	欧 消費者信頼感	2月 -6.6	-8.2

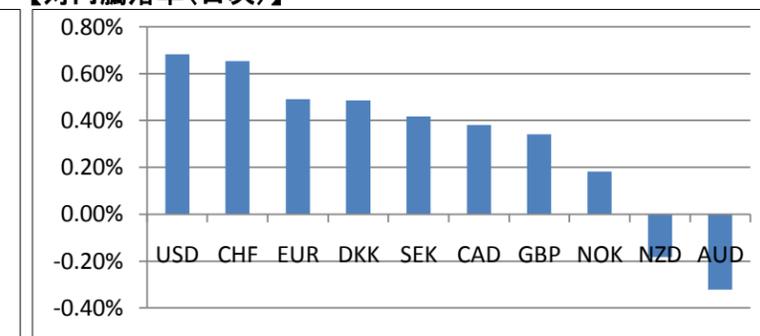
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月21日	17:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	2月 44.8/53.8/50.7	45.3/54.2/51.2
	18:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	2月 47.4/52.3/51.0	47.9/52.5/51.3
	18:30	英 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	2月 49.7/53.4/52.8	50.0/53.9/53.3
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	1月 -1.0%/1.1%	-1.0%/1.1%
	23:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	2月 51.5/53.4/-	51.9/53.4/53.3
2月22日	0:00	米 中古住宅販売件数	1月 5.44m	5.54m

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】ドル円急上昇はリスクオンムードなのか

足元、ドル円が急上昇している。19日の上昇幅は1.43円、20日の上昇幅は0.93円と2日合わせて2.36円の上昇となった。これは2016年12月14・15日以来の大きさである。当時は何が起きたか振り返ると米大統領選で現トランプ米大統領が勝利を収め、リスクオン相場の中、FRBが利上げを実施、タカ派な見通しを示したことでドル円が上昇という状況であった。当時は米国経済はトランプ氏による減税効果が期待され、FRBの利上げとともに米株・金利とも上昇する典型的なリスクオン相場であった。現在はどうであろうか。ここ2日のドル円の上昇幅は大きく、レンジは切りあがった。また2015年6月と2016年8月を基点とする三角持合を大きく上抜けたことで、相場の潮目が変わったかにも見える。一方で、米10年債利回りは1.5%台での推移、金は2013年以来7年ぶりの高値圏で推移しており、ドル円以外に目を向けるとリスクオンとは思えない。そもそもドル円が上昇したきっかけであるが、中国でのコロナウイルス感染拡大ペースの鈍化や、中国政府が企業救済措置を実施するのではとの見方が広がったこと、米指標が強かったことが挙げられているが、それだけでこれだけドル円が上昇するとは思えない。110円を抜けたことでストップロスの買いや、オプション売り勢による買い等、テクニカルな要因があったと見るべきであろう。では、この円安は一時的なものでしょうか。確かにコロナウイルスの実体経済への影響が今後確認される場合にはリスクオフムードは強まりそうである。気になるのはリスクオフのドル買いが強まっていること。このところドル円はリスクオフムードの中、ドルも円も買われる状況が続き、結果としてレンジ推移が続いていた。ただ日本では感染拡大が日に日に懸念され、政府の対応にも世界から批判が集まっている。有事のドル買いの方が円買いを上回り、米国経済の底形さが確認されている間はドル円も堅調に推移するかもしれない。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ブル	ペア	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ブル	ペア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ペア	ペア	ペア	ブル	ペア	ブル	ブル	ブル

ブル	ペア
11	9

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。